



縄文時代のはじまり

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

1 縄文時代のはじまり

1) 土器の出現

今から約2万年前の旧石器時代、世界は最終氷期さいしゅうひょうきの最後の寒冷期かんれいきをむかえ、海面は100m以上も低くなったと考えられています。九州地方でも有明海ありあけかいは平野となり、対馬つしま・五島列島ごとうれつとう、種子島たねがしまも陸続きでした。その後、気候は数千年かけて、次第に温暖化へと向かっていきます。そして氷河時代も終わる頃、約1万3,000年前に日本列島で土器作りが始まりました。この粘土を炎にあてて作った土の器は、最初に認識された縄の文様にちなんで縄文土器と呼び、土器が使われた時代を縄文時代と言います。この縄文土器の発明によって、落葉広葉樹林らくようこうようじゆりんの森のクリやクルミ、トチなどの堅果類けんかるとい、海辺の魚貝類も煮炊きして食料にすることができました。

九州地方でも、縄文時代のはじまりを告げる土器が、長崎県佐世保市の福井洞窟ふくいどうくつや泉福寺洞穴せんぶくじどうけつなどで確認されています。この頃、人びとは雨や風をしのぐために、洞穴いわかげや岩陰で暮らしていましたが、温暖

化により気候が安定してくると、竪穴住居をつくって本格的な定住生活を始めました。

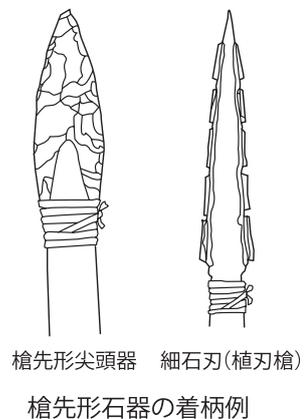
2) 狩猟具の変化

約16,000～15,000年前、九州地方では“細石刃さいせきじん”と呼ばれるカミソリ刃のような小さな石器が登場します。大陸から伝わったこの石器は、石材を効率よく使って大量生産することができ、鹿角などの軸棒に並べて差し込むと槍やナイフにもなりました。刃こぼれすると、そこだけ交換できる便利な石器です。旧石器時代の終わり頃、日本列島各地に広まってきました。福岡県でも、筑紫野市野黒坂遺跡のくろさかいせきや大刀洗町春園遺跡はるぞのいせきで確認されています。

縄文時代になると、槍先形尖頭器やりさきがたせんとうきと呼ばれる大型の槍先形の石器と共に木材を伐採して加工するための石斧が登場しました。さらに、イノシシやシカなどの俊敏な獣けものを射止めるための弓矢が発明されました。この新たな狩猟具しゆりようぐは土器と共に急速に普及し、縄文時代を通して、重要な道具となったのです。



細石刃核（上・中）と細石刃（下）
（春日市門田遺跡 ※展示資料）



槍先形尖頭器 細石刃(植刃槍)

槍先形石器の着柄例

2 縄文時代はじめ頃の遺跡

土器が出現した頃を、^{じょうもんじだいそうそうき}縄文時代草創期と呼んでいます。ただし、日本最古の土器がどこで、どう出現したのか、まだよく分かっていません。福岡県でも、この縄文時代のはじまりを考える上で重要な草創期の遺跡が幾つか見つかっています。

1) 草創期の土器と石器—春日市門田遺跡—

九州地方では、縄文時代に入ってから細石刃の槍（植刃槍）がしばらく使われていたことが分っています。春日市門田遺跡では、この細石刃を大量に剥がした、細石刃核と呼ばれる黒曜石製の石器が見つかっています。また、全国的に見てもめずらしい、^{つめがたもんじき}爪形文土器と呼ばれる鉢やサラダボウル状の土器も出土しています。文字通り人の爪先によって、文様が付けられています。さらに、「^{みこしばがたせきふ}神子柴型石斧」と呼ばれる刃先を丁寧に磨いた特徴的な石斧も出土しています。



爪形文土器
(春日市門田遺跡 ※展示資料)



「神子柴型石斧」
(春日市門田遺跡・原遺跡 ※展示資料)

2) 弓矢の普及と竪穴住居—福岡市^{おおぼる}大原D遺跡—

縄文時代に出現した新たな狩猟具の弓矢は、急速に各地に広まっていったと考えられています。この弓矢を証明するのは、穂先につけられた石鏃と呼ばれる石器です。^{こくようせき}黒曜石などの石材を魚の鱗のように薄く丁寧に剥がして、先端を尖らせて三角形に仕上げます。福岡市の大原D遺跡14区では、この石鏃や土器が大量に出土しており、弓矢が普及した頃の遺跡と考えられます。土器は口の部分に工具で刺した文様を持つものがあります。また遺跡では、風雨を避けるためか、崖の斜面の下に径約2.9mの円形や一辺3.0m程度の方形の^{とうかい}竪穴住居が幾つか見つかっています。焼けて倒壊した住居もあり、^{ほうしやせい}放射性炭素年代測定法と呼ばれる分析では、約1万800年前頃の測定値が出ています。この数値を見る限り、全国的にも古い竪穴住居であることは確かです。

(学芸調査室 杉原敏之)



弓矢が定着した頃の土器と石器
(福岡市大原D遺跡)



焼けて倒壊した竪穴住居跡
(福岡市大原D遺跡)



編集 発行:平成23年2月1日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>